

7月11日生活科学科が本校にて販売実習を行いました。本来ならやしるショッピングセンターBioでさせていただいているのですが、



まん延防止等重点措置発令中の観点から外での販売を自粛しており、このような形になりました。開店当初は、卒業生、保護者、本校生が駆け

付け、写真のような状態でした。会計のところの段取りは、久しぶりの販売のため不慣れな部分が出て、少しモタモタしましたが、みんなで協力して販売ができたようです。午後からは部活動帰りの生徒が多数来てくれたようで、盛況のうちに終了したようです。9日金曜日にある程度の準備をする予定が警報の発令により1時間だけで帰ることになり、下ごしらえができず、10日土曜日1日の準備となったため、午後6時ごろまでかかったとの報告を受けました。外部での販売経験が持てない現状では仕方のないことですが、経験値を高め、会計までの流れをスムーズにして販売ができるよう協力体制や確認作業など工夫をしていってください。販売にご協力いただいた生徒、保護者、卒業生の皆さんありがとうございました。そして生徒を支えていただいた先生方ありがとうございました。(7月末には加古川ヤマトヤシキで第2回目の販売実習を実施します。8月にも校外での販売実習を計画中です。)

7月12日からは体育科1年生の海洋実習が始まりました。9日1限終了後に結団式を実施し、士気を高め

ました。泊を伴う実習は1年半ぶりです。仲間と共に生活をする中で、行動力、団結力が高まります。天気は心配されますが、安全安心を心掛け何とか成功させてほしいです。当日は小雨が降る中出発。2年ぶりに浜坂諸寄海岸に来ました。お世話になる民宿つるだの鶴田代表からお言葉をいただき



齋藤君が生徒を代表して挨拶してくれました(①)。その後、更衣をして海岸に移動。まずは砂浜のゴミ拾いからです(②)。雨の影響もあったのか、木切れが多く打ち寄せられていました。15分ほどゴミ拾いをした後、開校式。山田体育科科長が「集団行動の大切さ」や「将来リーダーとなるために率先して行動することの大切さ」を説かれました(③)。岡元先生からは命札と腰につける浮きの説明があり、班ごとに準備体操をして、いよいよ入水となりました。命札は海に入っているときには砂浜に刺しておき(④)、海から上がれば首にかけておくようになります。また、腰には目印になる浮きを付けておき、脚が攀った時など手繰り寄せることができるようにします。小雨が降る中での入水でしたので、かなり冷たく感じたでしょうか(⑤)。それでもしばらくして水温に慣れてくると泳ぎ始めました(⑥)。泳ぐ練習ばかりでなく、シーカヤックなどのマリンスポーツや釣りなども時間を見ながら実施していきます。最終日は遠泳をします。水泳が苦手な生徒もここまでの体育の授業で、かなり泳法指導を受けたようです。体調管理に気を付けて実習を成功させ、自信をつけて帰ってきてほしいです。

このように、実習ができるということは、本当にありがたいことだと感じました。実習ができなければ経験せずに卒業になるケースも出てきますので、できる限り行事や実習は実施することを前提に、工夫して知恵を出し合い、できることを考えていくことで今まで以上の成果が出ると思います。文化発表会のようにみんなで作り上げたものは大きな財産となります。感染防止に努めつつ、自ら考えて行動していく習慣を身につけましょう。